

Victory

NO.3

令和2年6月
宮崎県立宮崎西高等学校
・附属中学校図書館

梅雨の晴れ間は、心を軽やかにしてくれます。早いもので6月も最終週へと向かっていますね。さて、例年にない変則的な学びの時間を体験したことが少なからずみなさんの内面に何らかの良さ化学反応を生み出しているといいですね。



授業で図書館を活用する

学校図書館には、『読書センター』『学習センター』『情報センター』の3つの役割があります。(また『サードプレイス(居場所)』として大切な役割も担っています。)

今回は、「学習センター」として6月15日(月)3限目に行われた中学1年1組理科の授業(授業者: 中学教頭・今城真美先生)の様子を紹介します。



↑選んだ本から情報を読み取っている様子

情報カード	
タイトル	
著者	
調べてわかったこと	
自分のコメント(感想)	
出典(参考文庫)	(書名) (発行) (著者名など) (発行年)
調べた日	月 日 名前

【単元3】6章 動物のなかま①動物の生活と体のつくり

動物の生活や体のつくりにはどのような特徴があるのだろうか?

観察3: 動物の生活や体のつくりの特徴を調べよう

(第1学年理科ワークシート 318)

〈活動の流れ〉

- ①本を選ぶ。 ②動物を1種類決める。
- ③それぞれの観点から調べ、情報カードに記録。
- ④集めた情報を整理分析しレポートにまとめる(表現・伝達)。

〈図書館としての支援〉情報収集の仕方をレクチャー、活動のサポート

- *情報の読み取り方を知る。(目次、索引、表紙等)を知り、効率よく目的の情報にたどりつく)
- *調べた情報を情報カードに記録する。(元は京大式カード:「知的生産の技術」梅棹忠雄著・岩波新書)1枚のカードに一つの情報を記録。
- *情報カードの書き方を理解する。「自らの問いを言語化する」「問いに対する答え」「わかったことに対する感想」「出典:自分が活用した情報源」を記す。
- *レポートは、他者への表現・伝達手段であることを理解し、ペンで清書しデザインも工夫する。



この時間は①→②→③の流れで取り組み、その後は③④を各自のペースで進め、6月末にレポートを完成(表現・伝達)させることになっています。出来上がったレポートは一冊に製本し、オリジナル『動物図鑑』として図書館に置く予定です。

今回の授業を通して図書資料を使った確かな情報の読み取り方と情報源の明確化を体感する機会になってくれたら嬉しいです。

いい作品ができることを期待しています。次回は、いくつか作品をこの場で紹介したいと思います。



図書館の良き使い手になるために



私たちはみな生涯学習者です。学びに終わりはなく、生きている限り様々な課題に直面します。課題解決の方法の一つに『図書館の活用』があります。学校図書館は、そのスキルを学ぶ場です。大いに利用して情報を上手に活用し、探究して行きましょう。困ったときは図書館へ。

上手に使うための
極意は…、
**「司書を使う、
司書に聞け！」。**
これに尽きます。
ほんとかどうかは、
使ってみること！！

図書館はみなさんと
ともに成長する有機体です。
さまざまな利用があることで
オーダーメイドのサービスを
提供することが可能となります。
本・人・施設を充実して
いきます。

**予約やリクエスト、
大歓迎！**
あなたの読みたい！
知りたい！に答えます。
待ってます♪

レファレンス（相談）
であなたの課題解決を
サポート！
いつでも声をかけてね。

検索ですか？
お任せください！
情報収集の仕方を伝授
します。（検索用PCが
あります。）

司書ってこんなこと
する人ニヤのです。

あなたが利用しやすいように
「場」と「様々な情報」を
整える、
ハウスキーパー。

授業支援致します。
気軽に声をかけてください。
・資料支援 ・ブックトーク、アニメーション
・ワークシート（情報カード、探究プロセス）
・単元関連図書コーナー設置 などなど

司書